

平成 27 年 9 月定例会 公共交通対策特別委員会委員長報告

30 番 塩入 学でございます。

私から、公共交通対策特別委員会の報告をいたします。

本委員会は、人口減少や少子高齢化が進行する将来社会を踏まえて、バス路線や並行在来線等の公共交通の在り方について調査研究を行うために昨年 9 月に設置されました。以来、本市の公共交通を巡る現状、先進地の事例、長野市公共交通ビジョン、都市計画と公共交通の連携などについて調査研究を重ねてまいりました。

また、この間、交通政策基本法の制定、地域公共交通活性化再生法の一部改正など、国の動向に大きな変化が見られることから、国土交通省交通計画課長を講師にお招きし、昨年 12 月、地域公共交通の現状と今後の課題について全議員と交通事業者等を対象とした講演会を開催いたしました。

中でも、本年 6 月に策定されました長野市公共交通ビジョンについては、本市の公共交通政策の根幹をなす計画であることから、本委員会としても重点的に調査研究を重ねてまいりました。

そこで、長野市公共交通ビジョンの策定に関連し、本委員会において出された主な意見等について、3 点申し上げます。

1 点目は、バス共通 I C カード「くるる」の機能拡大についてであります。

平成 25 年のアンケート調査では、平成 21 年度と比べ、バスサービスについての全体的な満足度が減少する中、運賃の支払い方法に関する満足度は大きく上昇しております。これは平成 24 年 10 月に運用を開始した I C カードくるるの導入により利便性が大きく向上したことによる効果であると受け止めております。

長野市公共交通ビジョンでは、I C カードくるるのバスと鉄道の相互利用、近隣都市への導入等の利用範囲の拡大、電子マネー機能の導入に向けての検討について掲げてありますが、I C カード機能の拡大は、バス利用の促進に効果的であることから、これらの取組を早期に実施し、バス利用者の増加及び利便性の更なる向上を図るよう要望いたしました。

2点目は、公共交通の情報提供の在り方についてであります。

現在、市民のバス路線網等の認知度は低く、平成25年のアンケート調査では市民の約3分の1の人が知らない状況となっています。過度な自動車利用を控え、公共交通の利用促進を図るため、様々な施策の展開が必要と考えますが、中でも一番大事なことは、どの公共交通機関をどう利用すれば目的地へ行くことができるのか、といった案内の情報提供であります。

長野市公共交通ビジョンには、目的地検索、乗継案内、時刻表、運賃などの検索サイトをインターネット上に構築し提供するとありますが、1つの自治体で複数のバス・鉄道事業者、コミュニティバス等を網羅した検索サイトを提供することは、全国的にも事例があまりないと聞いております。誰もが使いやすい検索サイトを提供できるよう、適切な対応を求めるものであります。

また、インターネットから情報を得るのが難しい高齢者等に対しては、問合せセンターを設置して対応するなど、きめ細やかで適切な情報提供を行うよう、要望いたしました。

3点目は、公共交通とまちづくり施策との連携であります。

人口減少社会において地域の活力を維持し、向上するためには、コンパクトなまちづくりと連携して、面的な公共交通ネットワークを再構築することが課題となっており、公共交通部門と都市整備部門との連携、特に都市計画マスタープランとの連携が大変重要となっています。

先般の都市再生特別措置法一部改正では、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者を初めとする住民が公共交通によりアクセスできる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」という考え方が示されました。長野市都市計画マスタープランにおいても、コンパクトな都市を支える交通整備として地域の拠点間を結ぶ交通の整備、中山間地域での生活交通の確保といった公共交通の充実が掲げられており、まちづくりと一体となった総合的な取組が求められております。

平成29年3月に予定されている長野市都市計画マスタープランの改定に当たっては、長野市都市計画審議会に専門部会を立ち上げたとのことであり、庁内関係組

織としっかり連携し、取組を進めるよう要望いたしました。

公共交通は生活を守り、地域の活力を維持していくために必要不可欠な都市機能の一つであり、その果たす役割は、今後ますます大きくなっていくものと考えられます。市におきましては、市長の強い信念とリーダーシップの下、長期的視野に立ちながら、長野市公共交通ビジョンにうたわれております将来像「人をつなぎ、まちを育て、暮らしを守る公共交通」の実現に向けて、地域公共交通網形成計画の早期策定など、具体的施策を目に見える形で着実に実施されるよう求めるものであります。

以上で報告を終わります。